

近畿本部衛生工学部会 第29回例会の御案内

近畿本部衛生工学部会 部会長 助宮賢治

近畿本部衛生工学部会2019年度第29回例会を下記 要領で行います。万障繰り合わせの上ご参加頂きますよう御案内致します。興味をお持ちの知人・友人へ 声かけもお願いいたします。

— 記 —

1. 日時：2019年9月18日(水) 18:30~20:00

2. 場所：日本技術士会近畿本部 会議室

3. 講演：

(1) 演題1：18:30~19:15

題目：「オープン&クローズド知財戦略」

講師：掛田 健二 技術士

概要：日本のエレクトロ産業が1990-2000年代にかけてCD-ROM、VTR、液晶パネル、リチウム電池、LED照明、太陽光発電などの基本特許・周辺特許を押さえた新製品が、発売5年以内に韓国・台湾・中国に追い抜かれて撤退した最大の原因は、知財戦略の失敗にある。日本家電に駆逐されたUSAが採用してIoTで復活した「オープン&クローズド知財戦略」を日本で採用した成功例を、林原産業トレハロースに見る。トヨタの燃料自動車、PHVにも見られる戦略を、大阪工大知財部講義聴講から概説する。

略歴：昭和47年名古屋工業大学大学院機械工学専攻修了。日立造船(株)入社

同社でゴミ焼却発電プラント設計建設、技術開発・管理、環境業界技術委員会委員。

平成20年 日立造船(株)定年退社。掛田技術士事務所設立、現在に至る。

※主たる専門分野：廃棄物処理、3R、産官学連携。企業・技術調査、知財管理。海外調査。

資格：技術士(衛生工学)、エネルギー管理士(熱)

(2) 演題2：19:15~20:00

題目：「日本各地の朝鮮石人像」の探索

講師：深田 晃二 技術士

概要：日本には、いろんな経緯で朝鮮半島から来た石人像、望柱石などの石造物が数多くある。これら朝鮮石造物は本来、墓守として建てられたものだが、殆どのものに文字が記されて無く、故郷を一度離れると由来が解らなくなる。朝鮮石人像をとりまとめた書物は皆無に等しく、文献・ネット・口コミなどの情報を元に、文人像・武人像・童子像・石羊などを訪ねてその所在を確認している。博物館などの固定した場所に設置されたものや古美術商の売買取手など、今までに訪ねた石人像約400体(日本各地)を紹介し、また昨年11月に招聘された東京大学韓国学研究所オムニバス講座での質疑等を紹介する。

略歴：昭和45年岡山大学工学部機械工学科卒業 同年(株)テクノ菱和(旧：菱和調温工業)入社

中東プラント施設空調設備設計、試運転、施工管理。その後設計・調達・品質保証・積算管理。

平成20年同社定年退職。深田技術士事務所設立。大学非常勤講師、建築設備設計、技術教育、協会事務局

長、裁判所専門委員を歴任し、現在、公共工事技術調査・工事検査、裁判所専門委員・司法委員、小中学校

理科授業講師等に従事。傍ら退職後2008年から「朝鮮石人像を訪ねて」を執筆中。

資格：技術士(衛生工学)、建築設備士、一級管工事施工管理技士、エネルギー管理士(熱：試験合格)

4. 参加費：会員1,000円/人、非会員2,000円/人 懇親会：自由参加(3,000円程度の実費)

5. 参加申込：講演会と懇親会それぞれについて、助宮あて参加・不参加をご連絡願います。

(助宮アドレス) guitars_cadillacs_etc@yahoo.co.jp

6. 申込締切：9月13日(土)とします。